

Web 媒介型サイバー攻撃対策プロジェクト「WarpDrive」を再起動！

～『攻殻機動隊 SAC_2045』シリーズとのタイアップを開始～

【ポイント】

- Web 媒介型サイバー攻撃対策プロジェクト「WarpDrive」を完全リニューアル
- 最新シリーズ『攻殻機動隊 SAC_2045』の世界観にプロジェクト全体をアップデート
- 2022年5月31日(火)から tachoma・セキュリティ・エージェント等の無償ダウンロードを開始

国立研究開発法人情報通信研究機構^{エヌアイシーティ}(NICT、理事長: 徳田 英幸)サイバーセキュリティネクサスは、Web 媒介型攻撃の実態把握と対策技術の向上のため、2018年に開始したユーザー参加型プロジェクト「WarpDrive*」を再起動し、アニメ『攻殻機動隊 SAC_2045*1』シリーズの世界観にプロジェクト全体をアップデートするとともに、各種のユーザビリティを向上しました。プロジェクトへの参加を可能にする新しい tachoma・セキュリティ・エージェント及び tachoma・モバイルの無償ダウンロードを2022年5月31日(火)14:00から開始しました。

*Web-based Attack Response with Practical and Deployable Research Initiative

【背景】

多様化・巧妙化を続けるサイバー攻撃。Webサイトを閲覧するだけでマルウェアに感染する Web 媒介型攻撃による被害は今もなお続いています。Web 媒介型攻撃は、悪性の Webサイトを閲覧したユーザーのみに攻撃が行われるため、正確な実態把握が困難でした。

NICTは2018年に、アニメ『攻殻機動隊 S.A.C.』シリーズとタイアップし、ユーザー参加型プロジェクト「WarpDrive」を開始しました。「WarpDrive」では、PC向けに「tachoma²・セキュリティ・エージェント」(以下「tachoma SA」)、スマートフォン向けに「tachoma・セキュリティ・エージェント・モバイル」(以下「tachoma・モバイル」)を無償配布し、参加ユーザーの Web アクセスの観測、分析、攻撃検知、ブロック、警告等を行い、Web 媒介型攻撃の実態解明や対策展開を目指してきました。

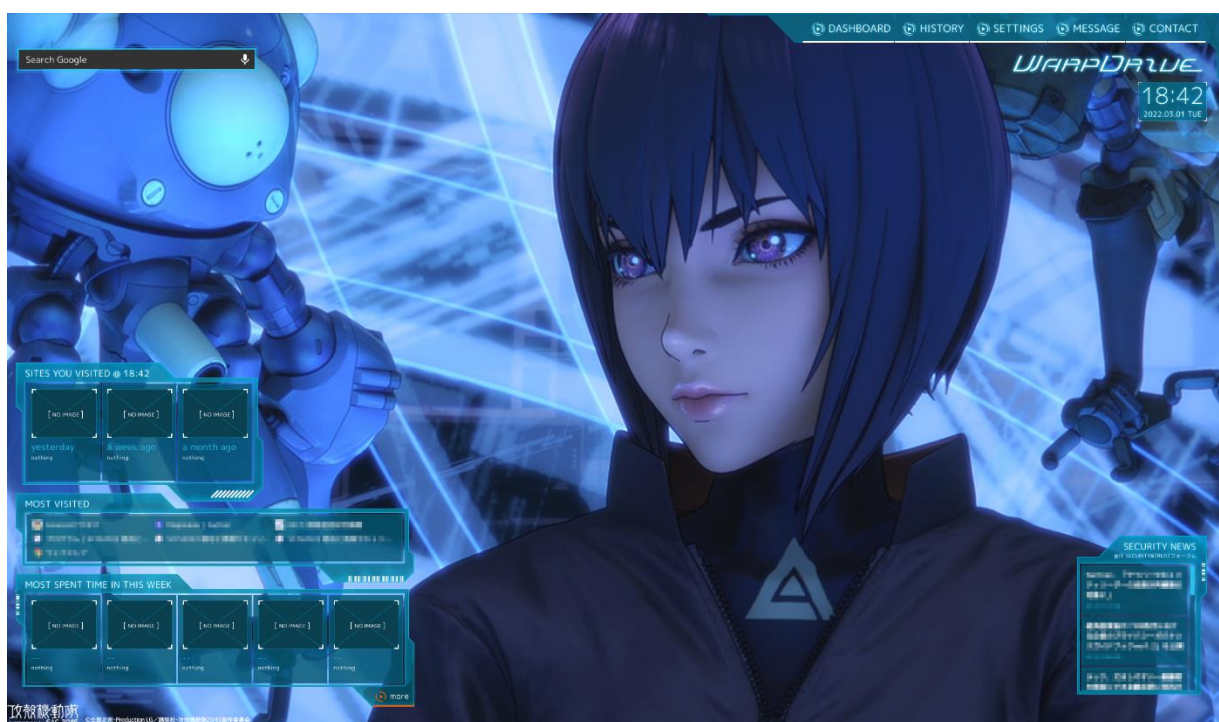


図1 『攻殻機動隊 SAC_2045』シリーズにアップデートされた tachoma SA のウィジェット画面

【今回の成果】

今回、NICT で 2021 年 4 月に発足した新組織サイバーセキュリティネクサス^{*3}(Cybersecurity Nexus: CYNEX)において「WarpDrive」を再起動し、最新シリーズ『攻殻機動隊 SAC_2045』とのタイアップを開始。同作品の世界観にアップデートしました。

さらに、タチコマ SA は、PC へのアプリケーションのインストールを不要とし、Chrome ブラウザの拡張機能のみで動作可能とすることで、初期導入が容易になりました。また、タチコマ SA からユーザーに通知があった際のヘッドライン表示を改善し、通知履歴を確認できるメニュー(図 2 参照)を追加、通知に関して運営側とやり取りができる窓口も追加しました。タチコマ・モバイルは、Android 11 に対応するとともに、スマートフォンのセキュリティレポートを表示する機能を追加するなど、ユーザビリティが大幅に向上しました。

『攻殻機動隊 SAC_2045』シリーズにアップデートしたタチコマ SA 及びタチコマ・モバイルは、2022 年 5 月 31 日(火)14:00 から無償ダウンロードを開始しました。

⇒ [WarpDrive ポータルサイト \(https://warpdrive-project.jp/\)](https://warpdrive-project.jp/)



図 2 タチコマ・モバイルの通知履歴確認メニュー

【今後の展望】

「WarpDrive」は、今後もタチコマ SA とタチコマ・モバイルのユーザビリティ向上やゲーム要素の追加など、継続的なアップデートを行うことで、より多くの参加ユーザーを募り、Web 媒介型攻撃の実態解明や対策展開を更に進め、Web 空間の安全性向上を目指します。

<関連する過去のプレスリリース>

- ・2018 年 6 月 1 日 Web 媒介型サイバー攻撃対策プロジェクト「WarpDrive」の実証実験開始について
<https://www.nict.go.jp/press/2018/06/01-1.html>
- ・2020 年 3 月 16 日 Web 媒介型サイバー攻撃対策プロジェクト「WarpDrive」スマートフォン向け実証実験を開始
<https://www.nict.go.jp/press/2020/03/16-1.html>

< 本件に関する問合せ先 >
国立研究開発法人情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究所
サイバーセキュリティネクサス
井上 大介、安田 真悟、平田 真由美
Tel: 042-327-5246
E-mail: cynex@ml.nict.go.jp

< 広報 >
広報部 報道室
E-mail: publicity@nict.go.jp

<用語解説>

*1 『攻殻機動隊 SAC_2045』

情報ネットワークとサイボーグ(義体)技術の発達により人々の意思が“電脳”に繋がれた近未来において電脳犯罪に立ち向かう全身義体のサイボーグ・草薙素子率いる攻性の組織、攻殻機動隊。1989年に士郎正宗により発表された原作コミック『攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL』を起源とし、アニメーション、ハリウッド実写映画など様々な作品群が展開され、その先鋭的且つ圧倒的な世界観とビジュアル表現により、全世界のクリエイターに影響を与えてきた近未来 SF の金字塔が新たな未来像を提示する。

迫力のサイバーパンクアクションと、草薙素子たちの全く新しい物語が描かれる『攻殻機動隊 SAC_2045』は、Netflixにて全世界独占配信中。

©士郎正宗・Production I.G/講談社・攻殻機動隊 2045 製作委員会

*2 タチコマ

士郎正宗による SF 漫画『攻殻機動隊』を原作とし制作されたアニメ『攻殻機動隊 S.A.C.』及び『攻殻機動隊 SAC_2045』シリーズに登場する自律走行可能な思考戦車のこと。高度な人工知能(AI)を搭載しており、操縦者なしでも独自に任務を遂行することができ、電脳空間においては、情報収集や危険な状況の察知など、公安 9 課のメンバーを強かにサポートしている。

*3 サイバーセキュリティネクサス

2021年4月1日(木)に、サイバーセキュリティ分野の産学官の「結節点」となることを目指して NICT 内に発足した新組織サイバーセキュリティネクサス(Cybersecurity Nexus: CYNEX)。4つのサブプロジェクト Co-Nexus A/S/E/C から構成され、「WarpDrive」は Co-Nexus A(Accumulation & Analysis)において再起動した。